



2021年6月17日
東日本旅客鉄道株式会社
大宮支社

宇都宮線・日光線に新型車両を投入します

JR東日本大宮支社では、安全・安定性、快適性を高め、安心してご利用いただける鉄道づくりを推進し、輸送品質の向上を追求しています。このたび、宇都宮線（小山～黒磯駅間）・日光線（宇都宮～日光駅間）に、新型車両を新造・投入することとしましたので、お知らせします。

この新型車両は、車内の快適性向上、お客さまへの情報提供の充実、バリアフリー化の推進を図るとともに、ワンマン運転に対応した機器を搭載しております。また、モニタリング技術を活用することで、安全性・安定性の向上を実現します。

1 形式および編成数

E131系

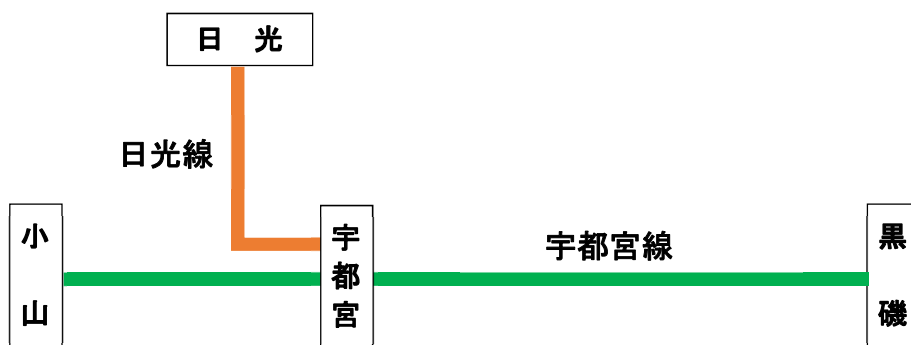
3両編成を15編成、合計45両を新造します。

2 スケジュール

2022年春頃から営業運転を予定しています。

3 投入線区

- ・宇都宮線（小山～黒磯駅間）
- ・日光線（宇都宮～日光駅間）



4 主な特徴（別紙）

(1) 安全・安定性の向上

- ・各車両の客室に車内防犯カメラを設置します。また、非常通報装置を1両につき4か所に増やし、セキュリティを向上します。
- ・モニタリング技術を活用した車両搭載機器や線路設備の状態監視機能により、故障の予兆を把握し、事前に対処することで更なる安全性・安定性向上を実現します。
- ・車両側面にカメラを設置し、乗務員が運転台からお客さまの乗降を確認する機能など、ワンマン運転に対応した機器を搭載します。

(2) 車内の快適性向上

- ・車体の幅を広げ、座席幅を拡大するなど快適性を向上しています。

(3) お客さまへの情報提供

- ・一部のドア上部に案内表示画面（17インチ）に運行情報を表示し、情報提供の充実を図ります。

(4) バリアフリー化の推進

- ・各車両に車いすやベビーカーをご利用のお客さまのためのフリースペースを設けます。また、トイレを車いす対応大型洋式トイレとするなど、バリアフリー化を推進します。

(5) 環境性能の向上

- ・エネルギー効率を向上させた車両制御装置を搭載し、環境性能を向上します。

(6) 車両外観デザイン

- ・日光らしいレトロ調を継承し、側面の帯には宇都宮市で復元された火焰太鼓の山車をイメージした黄色と茶色の2色配置として世界遺産日光の社寺に施される文様にも通じる、賑やかで高級感のあるデザインとしました。

※本リリースの画像はイメージです。

宇都宮線・日光線向け新型車両の概要

■主な特徴

- (1) 安全・安定性の向上
- (2) 車内の快適性向上
- (3) お客さまへの情報提供
- (4) バリアフリー化の推進
- (5) 環境性能の向上
- (6) 車両外観デザイン



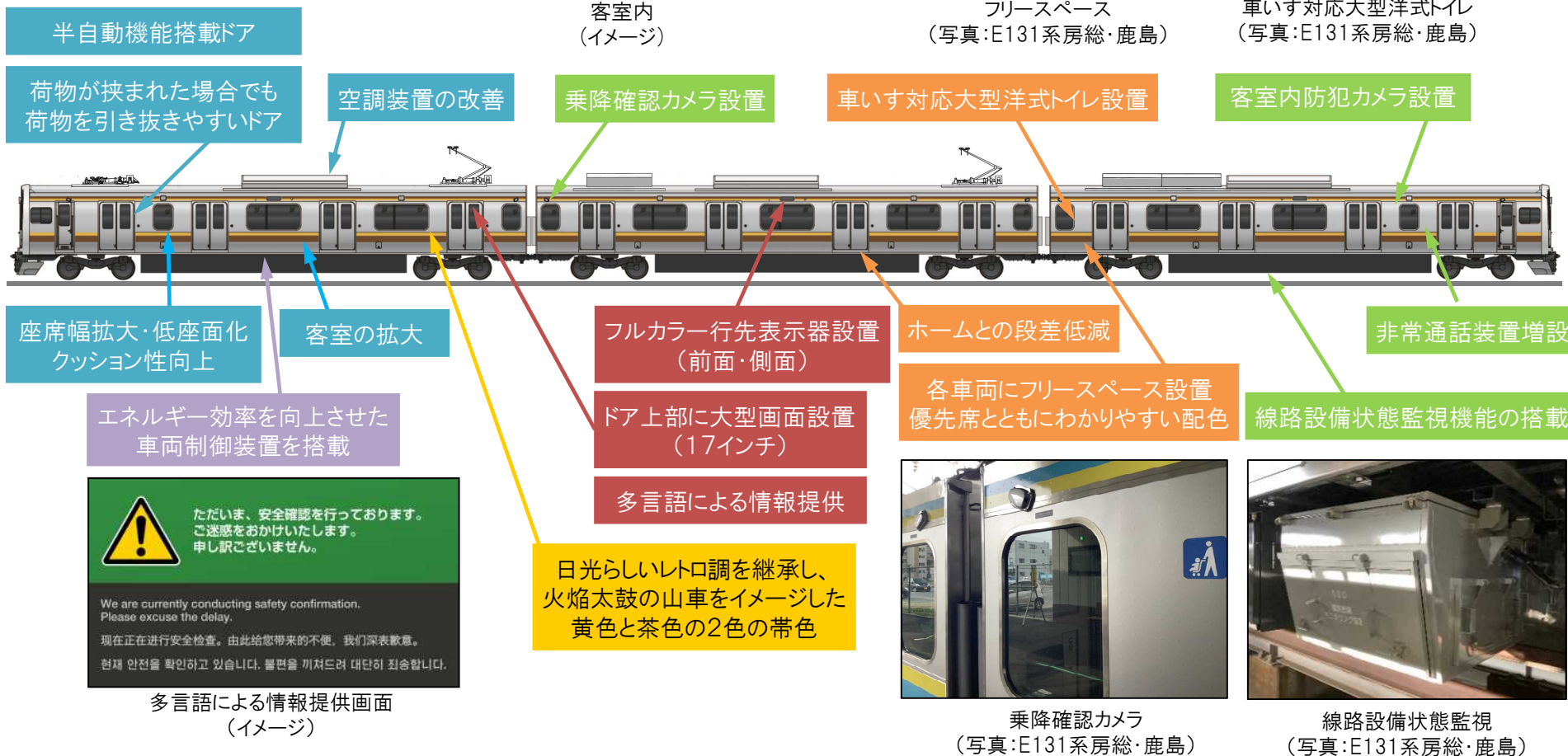
客室内
(イメージ)



フリースペース
(写真:E131系房総・鹿島)



車いす対応大型洋式トイレ
(写真:E131系房総・鹿島)



多言語による情報提供画面
(イメージ)

宇都宮線・日光線向け新型車両の概要

～205系との比較～

	 E131系 宇都宮線・日光線	 205系
編成構成	3両編成(2M1T)	4両編成(2M2T)
最高速度	110km/h	100km/h
車体	ステンレス製	ステンレス製
車体幅	2950mm(拡幅車体)	2800mm
座席1人当たりの幅	460mm	約435mm
シート方式	ロングシート	ロングシート(※「いろは」編成除く)
制御方式	VVVFインバータ制御(SiC素子) 回生・発電ブレーキ	界磁添加励磁制御 回生ブレーキ
主電動機	全閉型誘導電動機	直流電動機
補助電源装置	静止型インバータ	電動発電機
コンプレッサ	スクロール式(オイルフリー)	レシプロ式
車両情報管理装置	モニタ装置	なし
戸閉装置	電気式(ラックアンドピニオン方式)	空気式
情報提供装置	液晶ディスプレイ	なし
車両状態監視機能	あり	なし
線路設備状態監視機能	あり(一部)	あり(一部)
ワンマン運転対応機器 (乗降確認カメラ等)	あり	なし